

Imarishinkin Bank Report

SEPT.30,2021



あなたの街のパートナー

伊万里信用金庫

CONTENTS

ごあいさつ（令和3年9月期）	P 1
・ 預金積金に関する事項	
・ 貸出金に関する事項	
・ 仮決算に関する事項	
・ 地域密着型金融の一層の推進	
貸出金（運用）に関する事項（地域への資金供給の状況）	P 1
サイバーセキュリティ強化に関する事項	P 1
主要な業務の状況を示す指標（業務純益）	P 2
単体自己資本比率	P 2
金融再生法ベースの債務者区分による開示債権	P 2
預金積金・貸出金の状況	P 3
・ 預金積金の科目別残高	
・ 貸出金の科目別残高	
・ 貸出金の業種別残高	
有価証券の時価情報	P 4
・ 満期保有目的の債券で時価のあるもの	
・ その他有価証券で時価のあるもの	
・ 時価のない有価証券の主な内容及び貸借対照表計上額	
有価証券の科目別残高	P 4
令和3年度 上期の金庫行事、社会貢献活動等	P 5
伊万里・有田地区の当金庫の預金・貸出金のシェア	P 6
お取引先様の経営支援に関する取組状況	P 7
	P 8
知的資産経営への取組み	P 9
新型コロナウイルス感染症拡大の影響による支援の取組み	P 10
伊万里信用金庫 経営理念／基本目標	P 11
A T M設置状況	P 11

いまりしんきんレポート

(令和3年9月)

日頃よりいまりしんきんをお引き立ていただき誠にありがとうございます。

令和3年9月期の業績をまとめた「いまりしんきんレポート」を作成しましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

今年度も昨年度より引続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響による地域の皆さまからのご相談も多くあり、その対応に積極的に取り組んでまいりました。これからも引き続き地元の金融機関として、「理念」に基づき、「お客様支援」、「地元支援」に取り組んでまいります。

いまりしんきんは、地域の皆さまから“あなたの街のパートナー”として信用信頼され、安心してお取引いただける金融機関を目指し、努力を続けてまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

※預金積金に関する事項

預金積金の令和3年9月末残高は、対前年同月比3,312百万円(3.47%)増加し、98,540百万円となりました。内訳としては要求預金が2,078百万円増加し、定期性預金が1,233百万円増加となりました。

今後とも地域の皆さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新しい商品の開発やサービスの一層の充実に努めてまいります。

※貸出金に関する事項

貸出金の令和3年9月末残高は、対前年同月比428百万円(0.73%)増加し、58,299百万円となりました。増加した主な業種は、不動産業469百万円、卸売業・小売業338百万円、地方公共団体178百万円、個人(住宅・消費・納税資金等)111百万円の増加となりました。

一方減少した業種では生活関連サービス・娯楽業193百万円、製造業165百万円、運輸業・郵便業127百万円の減少となりました。

これからも地域の皆さまの必要な資金の供給に努めてまいります。

※仮決算に関する事項

業務純益は、前年度仮決算と比べ、25百万円増益の104百万円となりました。

またコア業務純益は、対前年同月比47百万円増加し、127百万円となりました。経常利益は7百万円減益の114百万円となり、当期純利益は、4百万円増益の84百万円となりました。

注) コア業務純益とは本業の利益を表すもので、業務純益から国債等債券の損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

※地域密着型金融の一層の推進

当金庫は、地域金融機関として地域経済の発展と中小企業の健全な育成、地域住民の福祉の向上等地域貢献に努め、当金庫と顧客・地域社会が共に繁栄するように付加価値の高いサービスの提供を通じて非価格競争力を強め、企業再生と収益力強化並びに利便性の向上を図るとともに、地方公共団体と継続的な連携を図り地域活性化に努めてまいります。

貸出金(運用)に関する事項(地域への資金供給の状況)

お客様からお預けいただいた預金・積金につきましては、お客様の様々なニーズに応え、地域経済の活性化に資する為に、円滑な資金供給を行う形でお客様や地域社会に還元しております。

当金庫の営業地区内の中小企業の事業者に対し、運転資金を185億円、設備資金158億円、個人の方に住宅資金等98億円、個人消費及びその他87億円を融資しております。令和3年度に新たに融資した金額は972件6,405百万円という実績でありました。

サイバーセキュリティ強化に関する事項

近年のサイバー攻撃は、日々高度化・巧妙化が進み、サイバーリスクが一層高まり、攻撃者の目的も多様化しています。金融機関はサイバー攻撃により被害を受ける可能性が高いことから、当金庫もサイバー攻撃対応態勢を整備するためにマニュアル、評価シート、管理要領、取組方針、インシデント対応組織運営要領を制定、強化に努めてまいります。

主要な業務の状況を示す指標（業務純益）

（単位：千円）

	令和3年9月末	令和2年度
業務純益	104,018	201,394
実質業務純益	103,329	185,118
コア業務純益	127,485	185,118
コア業務純益（投資信託解約損益を除く）	101,681	185,118

- （注）1. 業務純益＝業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）
業務費用には、例えば人件費のうちの役員賞与等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。
また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額（または取崩額）を含みます
2. 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額
実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益
国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等証券償却を
通算した損益です。
4. 「実質業務純益」「コア業務純益」「コア業務純益（投資信託解約損益を除く。）」については、銀行法施行規則等の一部を改正
する内閣府令（令和元年9月13日）による改正を受け、令和元年度分より開示することとなりました。
なお、「業務純益」については、昨年と同様に開示しております。

単体自己資本比率

自己資本の額（コア資本に係る基礎項目の額 － コア資本に係る調整項目の額）

5,736百万円

$$\text{自己資本比率} = \frac{5,736 \text{ 百万円}}{49,515 \text{ 百万円}} \times 100 = 11.58\%$$

信用リスク・アセット ＋ オペレーショナルリスク

※単体自己資本比率に関する事項

いまりしんきんは安心してお取引いただける金融機関を目指し、自己資本の充実に努めてまいり令和3年9月期は、仮決算であり概数となりますが、国内基準である4.0%はもとより、国際基準である8.0%を超え11.58%となりました。

金融再生法ベースの債務者区分による開示債権

＜参考＞

	（単位：百万円） 令和3年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,230
危険債権	940
要管理債権	—
計	2,171

	（単位：百万円） 令和3年3月末
	1,244
	944
	—
	2,188

（注）上記の令和3年9月末の計数は、「金融機能の再生のために緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。

令和3年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、令和3年3月末における債務者区分を前提とし、同年4月1日から令和3年9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分が変更された債務者の債権額を反映しております。

また、今年度仮決算時は、債務者区分が危険債権（破綻懸念先）以下については償却・引当見込み額、今年度仮決算時は、回収額、および担保処分見込額の半期中の変動を勘案しております。

債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	実質破綻先、破綻先の債権
危険債権	破綻懸念先の債権
要管理債権	要注意先のうち、利払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

預金積金・貸出金の状況

預金積金の科目別残高

科目別	(単位:百万円)		<参考>	
	令和3年9月末		令和2年9月末	令和3年3月末
当座預金		1,487	1,482	1,691
普通預金		34,973	32,892	34,613
貯蓄預金		58	56	58
通知預金		1	0	1
定期預金		57,455	56,265	50,550
定期積金		4,146	4,103	4,444
その他の預金		417	427	406
合計		98,540	95,227	91,766

貸出金の科目別残高

科目別	(単位:百万円)		<参考>	
	令和3年9月末		令和2年9月末	令和3年3月末
割引手形		136	229	214
手形貸付		2,588	2,572	2,709
証書貸付		53,919	53,610	53,256
当座貸越		1,654	1,459	1,659
合計		58,299	57,871	57,841

貸出金の業種別残高

業種別	(単位:百万円)		<参考>	
	令和3年9月末		令和2年9月末	令和3年3月末
製造業		5,015	5,180	5,241
農業、林業		518	589	568
漁業		47	28	49
建設業		4,550	4,479	4,614
電気、ガス、熱供給、水道業		186	206	208
情報通信業		100	111	102
運輸業、郵便業		1,959	2,086	1,952
卸売業、小売業		7,140	6,802	6,994
金融業、保険業		1,050	1,077	1,065
不動産業		5,384	4,915	4,998
物品賃貸業		102	115	94
学術研究、専門・技術サービス業		30	24	32
宿泊業		816	857	837
飲食業		1,567	1,594	1,621
生活関連サービス業、娯楽業		1,826	2,019	1,947
教育、学習支援業		185	200	193
医療、福祉		2,100	2,196	2,130
その他のサービス		1,777	1,737	1,767
小計		34,359	34,221	34,419
地方公共団体		5,319	5,141	4,903
個人(住宅・消費・納税資金等)		18,619	18,508	18,517
合計		58,299	57,871	57,841

有価証券の時価情報

- 満期保有目的の債券で時価のあるもの ……該当なし
 ■ その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	種 類	令和3年9月末			令和3年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	706	470	235	727	498	228
	債 券	12,769	12,652	117	10,044	9,947	97
	国 債	2,111	2,092	18	910	898	12
	地方債	1,322	1,300	22	1,224	1,200	24
	社 債	9,335	9,259	75	7,909	7,848	61
	そ の 他	2,250	1,919	331	2,848	2,482	365
	小 計	15,726	15,041	684	13,620	12,928	692
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	346	427	▲ 81	427	498	▲ 71
	債 券	7,077	7,111	▲ 33	8,755	8,839	▲ 83
	国 債	2,488	2,498	▲ 9	3,355	3,395	▲ 39
	地方債	696	700	▲ 3	594	600	▲ 5
	社 債	3,891	3,912	▲ 20	4,805	4,844	▲ 38
	そ の 他	1,528	1,641	▲ 112	1,372	1,502	▲ 130
	小 計	8,952	9,180	▲ 228	10,555	10,840	▲ 285
合 計		24,678	24,222	456	24,175	23,768	406

- 注) 1.貸借対照表計上額は、当事業年度末における市場価値等に基づく時価により計上したものであります。
 2.上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

- 時価のない有価証券の主な内容及び貸借対照表計上額

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和3年3月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
その他有価証券	6	6
(非上場株式)	6	6
信金中金出資金	318	318
合 計	324	324

有価証券の科目別残高

(残高については、前項の有価証券の時価情報より信金中金出資金を除いた残高となっています。なお、単位未満切り捨てとしております。)

< 参考 >

科目別	(単位:百万円)
	令和3年9月末
国 債	4,600
地 方 債	2,019
社 債	13,226
(公社公団債)	2,237
(金 融 債)	2,001
(その他社債)	8,988
株 式	1,058
投 資 信 託	1,667
外 国 証 券	2,060
そ の 他 の 証 券	51
合 計	24,684

	(単位:百万円)
	令和2年9月末
	1,811
	4,266
	1,426
	1,819
	12,346
	12,715
	1,473
	1,945
	2,401
	2,401
	8,471
	8,367
	1,031
	1,160
	1,750
	1,897
	2,166
	2,272
	49
	50
	20,581
	24,181

令和3年度 上期の金庫行事、社会貢献活動等

新入職員入庫式（4月1日）

当金庫、当地域の将来を担っていく若き職員が4名入庫しました。各支店において切磋琢磨しながら頑張っています。



「信用金庫の日」献血運動（6月11日）

本店駐車場にて献血運動を行いました。
（108名の方に献血協力頂きました）



伊万里信用金庫杯グラウンドゴルフ大会（6月26日）

コロナ禍により職員は参加できませんでしたが、地域の皆さまのおかげで、2年ぶりに開催することができました。



第95期 伊万里信用金庫通常総代会（6月22日）

昨年同様新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて規模を縮小して開催することとしました。今後も“あなたの街のパートナー”として役職員が丸となって地域活性化に努めます。



伊万里津大橋の「壺」清掃

2ヶ月に1回支店ごとに、地域のシンボルである「伊万里焼」の「壺」清掃を行っています。



松浦市 ルノンマルシェ出店（8月8日）

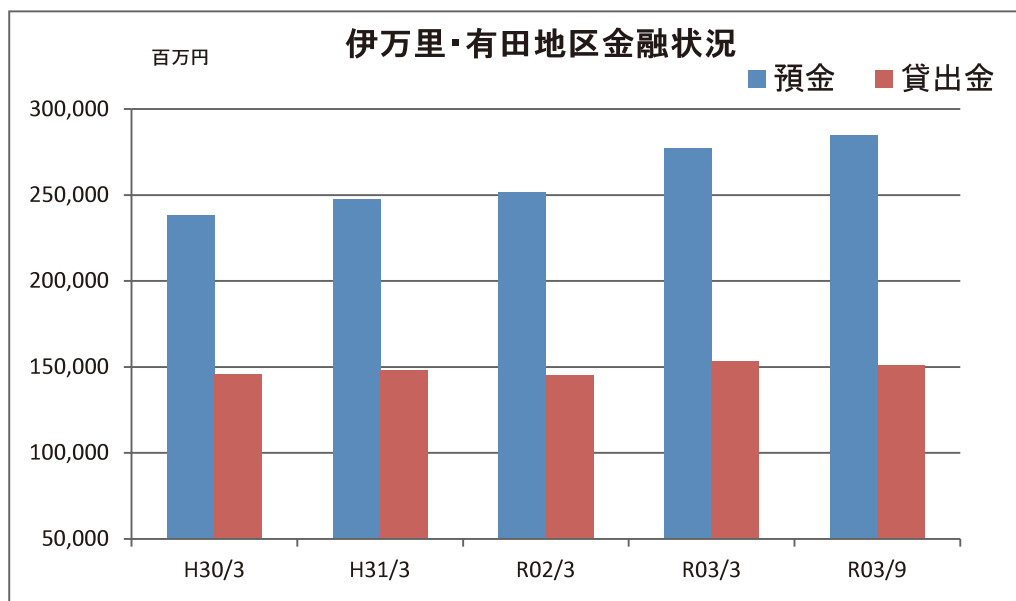
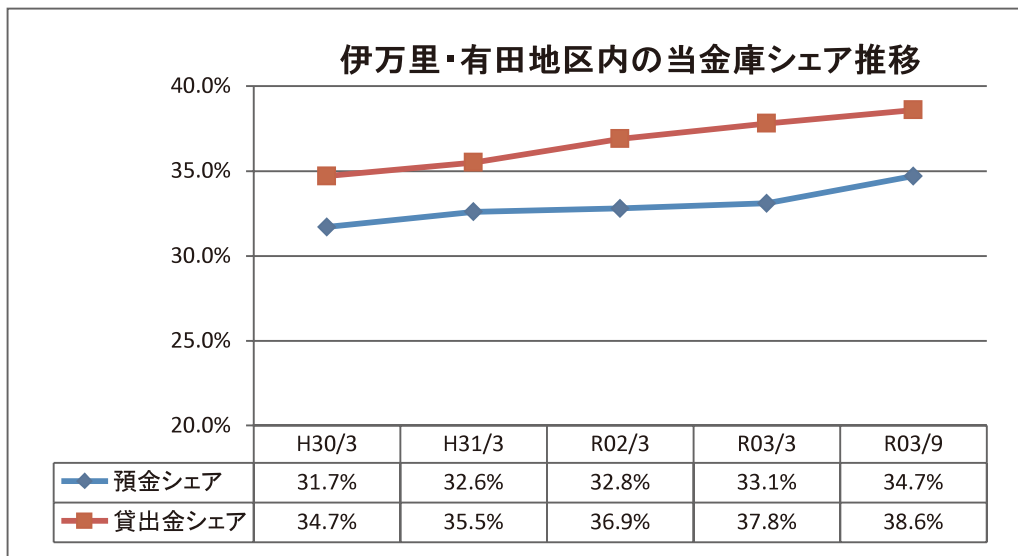
松浦支店職員でマルシェに出店させて頂きました。地域の方々に支えていただきながら、松浦市の地域に根ざした松浦支店を目指し日々営業しております。



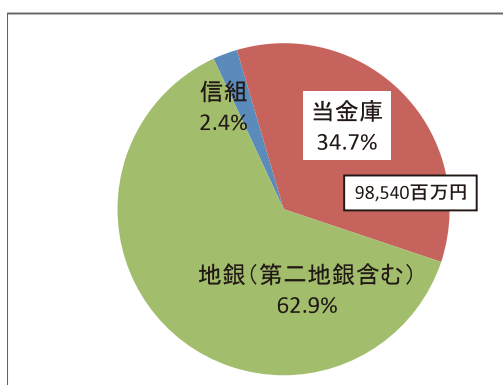
○令和3年度上期は、昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、一部行事を自粛する事となりました。毎年地域の皆さまにご支援、ご協力を頂きながら、開催しておりました「伊万里信用金庫旗争奪少年野球大会」は開催を自粛、「しんきん経営塾」は延期することとしました。

伊万里・有田地区の当金庫の預金・貸出金のシェア

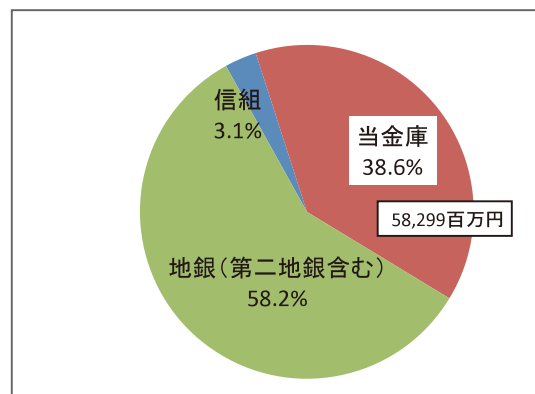
伊万里・有田地区の金融機関は、当金庫、地銀3行、第二地銀2行、信組1行の計7金融機関（農協・郵便局除く）があります。当金庫のシェア（令和3年9月末）は、預金34.7%、貸出金38.6%となりました。



預金シェア状況（令和3年9月末現在）



貸出金シェア状況（令和3年9月末現在）



お取引先様の経営支援に関する取組状況

1. 補助金・助成金取得支援について

平成25年より補助金・助成金の取得に積極的にお手伝いをさせていただいております。今期までに全138件の採択で約502百万円の補助金等の取得につながりました。

今期は国の経済対策として事業再構築補助金の新設もあり、21件の採択で274,647千円の補助金の採択となりました。

令和3年度補助金申請可決先

令和3年度 小規模事業者持続化補助金	3先
佐賀県新事業チャレンジ支援補助金	6先
さが「きらめく」ものづくり補助金	1先
佐賀県中小企業事業承継円滑化支援事業費補助金	1先
事業承継・引継ぎ補助金	1先
ものづくり・商業・サービス補助金	1先
事業再構築補助金	8先

2. 佐賀県よろず支援拠点専門家派遣について

お取引様の経営上のあらゆるお悩み相談に対して、これまでも当金庫は佐賀県よろず支援拠点を積極的に活用し、佐賀県よろず支援拠点専門家派遣を実施してきました。

内容は、ものづくり補助金、助成金等の取得、IT活用による販路拡大、事業再構築補助金の取得、後継者経営塾等、お取引先様の事業展開のための革新につながるものとなっています。本年度上半期は、4社様に専門家派遣を実施しています。

3. 副業人材マッチング事業（Skill Shift）運用開始

令和2年12月に伊万里市と締結した「地方創生に関する包括連携協定」事業として、都市部の優秀な人材のスキル等を市内中小企業の経営課題の解決に活かすプロジェクトとして副業人材マッチング事業（Skill Shift）を開始しました。

2018年、厚生労働省が副業解禁により、都市部の有名企業で活躍している人材が、自身のスキルを活かし地方への貢献、つながりを持ちたいといった想いを持つ人材を「副業」という形で活用できる事業に取り組んでいます。

4. Jシステム運用開始について

今年度より、オンラインで助成金の診断ができるJシステムの運用を開始しました。厚生労働省では毎年多くの助成金のメニューが予算化されていますが、活用されていない事業者が多く、広くご案内できればと思います。Jシステムではオンライン上でわずかな時間で簡易診断が可能で、個別相談もできるシステムとなっています。

申請についても提携先の社会保険労務士による支援（有料）も可能です。

※助成金の申請については社会保険労務士でない者の支援が法律で禁止されております。

5. しんきん地域ネット

しんきん地域ネット（しんきん地域創生ネットワーク株式会社）は、バイヤーや外部専門機関と幅広く連携し、中小企業の商品・サービスにおける「商品開発」から「販売機会」まで、課題解決のソリューションをワンストップで提供する信用金庫業界の地域商社です。

6. しんきんコネクト運用開始

今年度10月より、信用金庫のネットワークを活用した中小事業者のためのWEBマッチングサイトを開設します。

WEB利用については、募集内容に応じてサプライヤー（売りたい）またはバイヤー（買いたい）として登録をしていただき、WEB上で商談する事が可能です。大手・海外バイヤーも参加することで新しい商談機会をご提供いたします。

7. 知財支援に係る意見交換会

当金庫と佐賀県産業イノベーションセンター知財支援室は、中小企業者等の知的財産に関する意見交換会を実施しました。

知財支援室・知財トータルサポーターより知的財産権の種類や申請に関する知識、支援窓口としての支援内容や事例を紹介していただきました。

知財に対する重要性を再認識するとともに、連携を強化しお客様のオリジナル商品開発等のPR模倣品を防ぐ手段として役立てていきたいと思っております。



知的資産経営への取組み

知的資産経営とは

人材、技術、組織力、顧客とのネットワーク、ブランド等の目に見えない資産のことで、企業の競争力の源泉となるものです。

これは、特許やノウハウなどの「知的財産」だけではなく、組織や人材、ネットワークなどの企業の強みとなる資産を総称する幅広い考え方であります。

さらに、企業固有の知的資産を確認し、有効に組合せて活用していくことを通じて収益につなげる経営を「知的資産経営」と呼びます。

知的資産経営には、事業承継、販売促進・関係構築、採用・人材育成、経営戦略・経営革新等の経営課題に対して極めて有効であります。

・ 知的資産経営レポート作成支援会議

当金庫は平成 26 年度から知的資産経営に取組み、これまでに延べ 45 社の企業様にレポート作成をお手伝いさせていただきました。そのような中、今年度も知的資産経営レポート作成を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自粛することとなりました。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、中小企業診断士・伊万里、有田商工会議所職員様・当金庫と連携し、取組みを継続して知的資産経営をより多くの企業様に学んで頂き、更に競争力のある企業様へと成長頂く様にお手伝いさせていただきます。

・ 事業承継円滑化支援事業（見える化支援事業）

平成 30 年度より佐賀県が知的資産【よかところ】経営に取組み、知的資産経営レポート作成先については佐賀県の制度融資（保証協会利用）については保証料無料の制度をつくり知的資産経営の促進を図っております。

今年度は、佐賀県が主催する事業承継円滑化支援事業に 1 社参加いただき、これまでに合計 4 回の事業承継に向けた計画書策定会議を行っております。

（第 1 回 8/3 第 2 回 8/17 第 3 回 9/9 第 4 回 9/29 ）

（第 5 回 10/12 第 6 回 10/13 第 7 回 10/20）（今後の予定）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による支援の取組み

新型コロナウイルス感染症拡大により、中小企業への影響は多大で、地元窯業界をはじめ、観光関連、飲食業に止まらず広範囲の業種に影響を及ぼしてきました。その中でも、当金庫では中小企業・個人事業主の事業継続と雇用を守るため、新型コロナウイルス感染症対策資金等による資金繰り支援、外部機関との連携など迅速かつ適切に実施する体制を構築しました。

1. 資金繰り支援

佐賀県で新設された制度資金「新型コロナウイルス感染症資金繰り対策資金」「新型コロナウイルス感染症対応資金」を積極的に、かつ可能な限りスピーディな手続きで取り組み、昨年4月から今年4月末までに延べ596件104億8百万円(借換えを含む)の支援を行いました。

今後も当金庫ではご融資支援のみならず、安定して企業活動等お客様が行えるよう、有益な情報提供や助成金・補助金申請のお手伝い、円滑な事業承継等のお客様支援に取り組んでまいります。

2. 補助金・助成金等の申請支援

以前より、ものづくり補助金・小規模事業者持続化補助金等の申請支援を積極的にお手伝いさせていただいておりました。今年度も各種の申請支援、新型コロナウイルス対策関連給付金申請の情報提供等をお手伝いさせていただいております。

3. 地域の情報発信

コロナ禍以前より当金庫で制作しているCATVでの番組「キラッとしんきん」を通じて、地域のイベントや企業紹介・お役立ち情報等を継続的に発信しております。

今後も地域の皆さまへ、お役に立てる情報や地域の様々な情報を発信しながら、地域支援につながる番組制作を行います。

キラッと★
しんきん



伊万里信用金庫 経営理念

- ・地域金融機関として、地域産業・経済の健全なる発展を目指します。
- ・地域金融機関として、地域住民の生活文化の向上を図り、豊かな未来創りを目指します。
- ・地域金融機関として、信用金庫の使命・役割を果たし社会的評価の向上を目指します。
- ・地域金融機関として、活力ある職場創りに努め地域からの信用・信頼・信任される人材育成を目指します。

伊万里信用金庫 基本目標

- 支援・営業力の進化
- 経営力・内部態勢の深化
- 人材力・組織力の深化

○ ATM 設置状況

カード・通帳の紛失・盗難 緊急連絡先 : 0120-23-3187

営業日の8:30から18:00の時間帯は、各お取引の営業店へご連絡ください。

店 舗 名	自動機 の種類	稼 働 時 間			所 在 地
		平 日	土 曜 日	日曜日及び祝日 (土曜日の祝日を除く)	
本 店 営 業 部	ATM	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	伊万里市伊万里町甲375番地3
有 田 支 店	ATM	8:45～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	西松浦郡有田町本町丙1069番地1
黒 川 支 店	ATM	8:45～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	伊万里市黒川町塩屋230番地1
大 川 支 店	ATM	8:45～18:00			伊万里市大川町大川野3370番地1
山 代 支 店	ATM	8:45～18:00			伊万里市山代町久原2871番地5
南 支 店	ATM	8:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	伊万里市新天町521番地1
西 有 田 支 店	ATM	8:45～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	西松浦郡有田町立部乙2178番地2
東 山 代 支 店	ATM	8:45～18:00			伊万里市東山代町長浜2135番地1
松 浦 支 店	ATM	8:00～20:00	8:00～20:00	8:00～20:00	長崎県松浦市志佐町里免360番地2
伊万里市役所 出張所	ATM (店外)	8:00～21:00	9:00～18:00		伊万里市立花町1355番地1
まつばや脇田 店出張所	ATM (店外)	8:45～19:00	9:00～18:00		伊万里市脇田町171番地1

SHINKIN BANK



Face to Face



あなたの街のパートナー

伊万里信用金庫

〒848-0047 伊万里市伊万里町甲 375 番地 3

TEL (0955)23-3151

ホームページ URL <http://www.imarishinkin.co.jp/>